

神楽坂だより

編集・発行
 おいしい通信
 162-0813 東京都
 新宿区東五軒町5-8-1802
 atsushih@nifty.com
 090-7217-3564
 東村 篤
 (PN 紙小路篤磨)

世界の忘れもの 温かい心 コモンズの時代なのに

今、人間社会に問われているのがコモンズ。コモンズとは、特定の人や団体が所有することなく誰でも自由に利用することができる、占有が許されない空間を指します。一般的にコモンズの空間・場を利用することで人と人とのつながりが生きコミュニティの醸成となります。コモンズは、①共有資源が誰でも利用できる状態であること、②共有

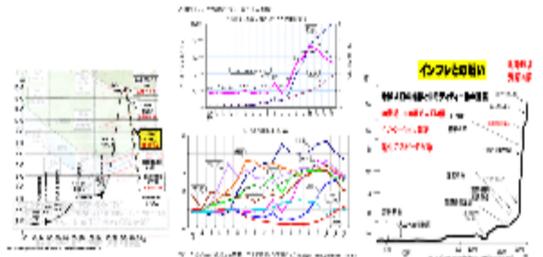
話題 麻布台ヒルズが11月24日オープン

【神谷町】11月24日(金)、麻布台ヒルズがオープンしました。早速、南青山の職場から歩いて同所へ、西麻布から見ると六本木ヒルズと東京タワーが1列で眺めがよいです。小職は、取材調査、街歩きに当たっては昭和47(1972)年発行の「昭文社の東京区別地図」を片手に歩いています。芝大門からは、上り坂で飯倉、六本木へと東西に細長い麻布台。南北は、谷の地形に広くもない外苑東通りなど、地下鉄も最寄り駅は「神谷町」、都心のポケット、車とバスのまちでした。

投融资業務の現役時代は、企業団体の訪問先も多く坂道をよく歩きました。路地を入れば、整然とは言えない町並みでした。これだけの区画を再開発するのだから地権者も多く、地上げ屋の横行で苦労の連続であったことが想像できます。

社会の変化と中心価値の推移

社会の進化	農業社会	工業社会	知識社会
情報共有の価値財	公共財	私有財	地域財



資源が希少または有限であることが要件です。

表「社会の変化と中心価値の推移」をご覧ください。知識社会となつて中心の価値観は、地域財となつて地球自体が人間にとつての共有資源であり、大気や水、土地は希少かつ有限であるコモンズが、紛争・戦争、一部の経済合理性を追求の開発や森林伐採、温室効果ガスの排出、産業廃棄物処理問題など地球環境の破壊へと繋がりが続いています。コモンズの悲劇と言えます。図は、一目瞭然、ここ160年もの間、人間の行動は、「温かい心」を失っているのです。

しかし、外務省飯倉公館、ロシア大使館のある麻布台界隈を森ビルの虎ノ門地域から麻布台まで一体感のある長期的展望の「緑の空間」を採り入れた「癒しの場」再開発事業で環境は一変しました。

最上階のレジデンス1、500㎡は200億円、買主は、上場企業となったオーナーと聞く、70㎡の広さで約24千万円、誰が買っているのだろうか。富の偏在を象徴します。

バブル経済崩壊後の資産価値は、この麻布台ヒルズのように地域再開発によって住まい、就業環境が一変することで不動産所有者、地主・企業株主の効果が大きい。円安も外国人の投資対象、勝ち組のサラリーマンが住まいするのでしょうか。

同ヒルズのショッピング店は、2万円〜20万円が中心価格帯、オープン当初でもありそぞろ歩きが多いこと、ショッピング袋を手にした客は少なかったです。これだけの投資をしての勝算、大丈夫かな、交通アクセスがもう1手段欲しいは本音の所感です。

東京銭湯めぐりに参加

【千代田】東京都浴場組合(約450軒)は、「ゆっぽくんとく! #銭湯ホッピング」と題して10月15日から11月30日まで銭湯巡りのスタンプラリーを企画、映画「こんにちば、母さん」での銭湯ロケ地探しを兼ねて参加しました。



神楽坂の銭湯①「竹の湯」、②「熱海湯」、③「第三玉乃湯」、区内の大久保通り④「万年湯」、北区滝野川(都電「巣鴨新田」)種屋通り・亀の子束子近所⑤「稲荷湯」写真、⑥錦糸町・墨田区「黄金湯」、⑦押上「大黒湯」、⑧向島「薬師湯」、⑨東向島「寺島浴場」でゴールとなりました。バックGeot. 懐かしい銭湯の石鹸、下町に多い「牛乳石鹸」、中でも、「稲荷湯」は何と「皆様石鹸」でした、奈良県御所市の石鹸会社です。新市区民60歳以上月4枚銭湯利用券配布(所得制限なし・無料)

お伊勢さんだより

お伊勢さんの歳時記

令和5年・紀元2683年發卯
12月 師走

1日(金) 御酒殿祭 午前10時

内宮神楽殿の東側に隣接する御酒殿において、12月の月次祭の由貴大御饌にお供えする御料酒(白酒・黒酒・醴酒・清酒)4種がうるわしく醸成できるよう、また全国酒造業の繁栄を御酒殿の神にお祈りします。

15日(金) 16日(土) 17日(日) 月次祭

■豊受大神宮

由貴夕大御饌 15日(金) 午後10時
由貴朝大御饌 16日(土) 午前2時
奉幣 16日(土) 正午

■皇大神宮

由貴夕大御饌 16日(土) 午後10時
由貴朝大御饌 17日(日) 午前2時
奉幣 17日(日) 正午

12月の月次祭(つきなみさい)は、10月の神嘗祭(かんなめさい)・6月の月次祭と共に「三節祭」と呼ばれる神宮の最も由緒深い祭典です。15日皇大神宮 御卜・興玉神祭

31日(日) 大祓 15時

新年を迎えるにあたり、大宮司以下の神職・楽師を祓い清める儀式です。また同日神宮司庁等ですべての神宮の職員を祓い清めます。

参拝時間 注意 冬季時間。年越し参り

一般参拝 午前5時〜午後5時(大晦日(終日))

御祈禱 両宮とも午前8時〜午後4時(奉仕8:30)

祭典は、参拝時間内は奉拝できます。

日別朝夕大御饌祭 外宮御饌殿毎朝夕

神馬奉参 1日(金)、11日(月)、21日(木) 両宮 午前8時過ぎ

※冬季でありインフルエンザも加わり予断を許さない状況に変わりはありません。ご参拝にあたっては神宮HPにてご確認ください。

神宮の奉仕団体、相次いで「周年」

公益社団法人日本青伸会(東京都千代田区西神田2・理事長・久本恵章)が本年6月設立80周年、神宮御萱地造成勤勞奉仕80周年を迎え6月3日を中心に記念事業と「萱(かや)」の不足が顕在化で栽培の若い世代への伝承・奉仕基盤整備に向けて青年部の充実を図っています。周年を機に更なる「庭療奉仕」と「山の神・ひもろぎの里」の整備拡充を計画しています。

また、一般財団法人伊勢神宮崇敬会(伊勢市宇治中之切町・会長・松下正幸)は、戦後初めての第59回式年遷宮(昭和28年)の募財のために設立された「伊勢神宮式年遷宮奉賛会」を母体として、昭和28年12月2日、「財団法人伊勢神宮奉賛会」を設立、その後、現在の組織名称となり平常時における神宮奉賛活動を行なっており本年、70周年です。日本の伝統・文化・精神を体感、体得できる伊勢神宮を知り理解することこそが真のリーダーとなることでしょう。

伊勢が生んだ女流歌人の第一人者 生方たつる

生方たつるさんは、「少女期の伊勢」で「参道の中央は慎みの心を」と伊勢の母の教えがお正月にのみがえる、神を中心とした暮らしのしきたりが根付いていました。と寄稿されています。伊勢市宮後(明治37年)の間宮家に生まれ、宇治山田高女を大正11年卒業、日本女子大卒業、群馬県沼田市の生方家へ嫁がれ歌人になりました。11月、小職が県立沼田高校の修学



旅行一行を外宮・内宮両宮を案内で受け持ったグループの引率がたまたま同校田村教頭先生、國學院大學出身で国語科を担当、「生方文庫」に造詣が深く伊勢と沼田が結ばれていることを話され、慶光院さん、宇治土公さんと同期生の生方さん、先生と案内の合間に話が弾みました。すべては、縁ですね。(写真・伊勢市立伊勢図書館前「生方たつる句碑」)

絵かきのまち 志摩市大王町浪切 県立美術館美術セミナーで司会

【志摩】12月2日(土)午後、本年度三重県立美術館友の会で理事として研修部長を拝命の小職は、志摩市大王町波切「平賀亀祐記念館」で開催の美術セミナー「越境と美術」と題して県立美術館鈴村麻里子学芸員が講演され、司会進行を務



めさせていただきました。幸い、天候にも恵まれ大盛況となり、志摩市並びに鳥羽、伊勢はじめ南勢地区の皆さん、ぜひご来場ありがとうございました

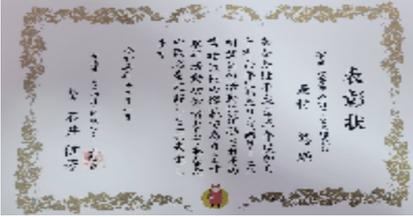
オレンジの輪

編集発行
認知症キャラバン・
メイト南勢地区連絡
会事務局 中川義郎
516-0036
伊勢市岡本2-13-7
yukio@orange.or.jp

介護サービス相談員 永年勤続表彰

【平河町】12月1日(金)、午後から東京平河町砂防会館別館「バツハホール」で令和5年度介護サービス相談活動事例報告会が開催され、永年表彰式において一人ひとり登壇、被表彰者として授受いたしました。

静岡市、八王子市の介護サービス相談員と同席でしたので、昨今の活動状況について情報交換の機会ができた有益な報告会でした。



話題 千葉産落花生1袋500円、
が7袋で千円に、アメ横
11月30日(木) 篤、敏之兄弟が初めて京成線「上野」駅前界隈の「アメ横」もんじや焼きの「もへじ上野分店」で会食。乾きもの老舗販売店で何と7袋で千円が良い、まで下がり買いました。

介護老人保健施設などの 相部屋の室料 制度見直しへ 自己負担化の方向を示す

【霞が関】朝日新聞ニュースデジタル(2023.12.02)によると、介護保険制度の介護老人保健施設などの相部屋の室料について、厚生労働省は低所得者を除く利用者に全額自己負担を求める方向で調整に入りました。

特別養護老人ホームでは、既に2015年8月から月1万4千円の室料が自己負担化されており、同じように制度を見直す。4日に開く社会保障審議会(厚労相の諮問機関)の分科会で案を示されます。対象は、在宅への復帰や在宅での生活を支援する介護老人保健施設(定員約37万1千人)、長期療養の人が生活の場とする介護医療院(同約3万8千人)、長期療養が必要な人に介護や医療を提供する介護療養型医療施設(同約1万3千人)。

介護施設の居住費は元々、保険給付の対象だった。しかし、在宅介護との公平性を踏まえ、2005年10月から相部屋では光熱水費、個室は室料も含めて保険給付の対象外となり、さらに特別養護老人ホームでは2015年8月以降、「事実上の生活の場」として選択されているとの理由で相部屋も室料を自己負担となっています。

伊勢民主診療所が新築移転 常盤2丁目「常磐湯」跡地 2025年春開院

【伊勢】みえ医療福祉生活協同組合伊勢民主診療所(医療・「宮川さくら苑」ほか介護施設運営・伊勢市浦口4丁目2-13)は、昭和51(1976)年現在地で開院以来、47年を経過、令和8(2026)年に50周年を迎えることで、県道伊勢・南島線(伊勢参宮街道)常盤2丁目地内銭湯「常磐湯」(写真・1月末日廃業)跡地に移転、新築を行ない令和7(2025)年春開院をいたすこととなりました。



母体の伊勢・度会医療生活協同組合は、昭和

49年7月7日、七夕台風が伊勢地方を襲い市街地の床上浸水甚大で同市岡本2丁目地内に「災害救急診療所」設置がきっかけとなり、全日本民医連、日本生協連が救援・支援活動協力を得て同年8月27日付「あなたがつくる診療所建設ニュース」第1号で診療所建設に伴う資金調達としてコープ協同組合への加入、出資金を呼びかけ今日の診療所建設運営の礎となった経緯があります。今回も同様に組合への加入、出資金を広く呼び掛けています。



には、医療法人全心会伊勢慶友病院跡地(写真・来春、スーパール牛虎等新築移転にも、浦之橋商店街周辺の中心市街地活性化が期待されています。

認知症徘徊行方不明者が過去最高

認知症やその疑いがあり、行方不明になった人は去年、全国で延べ1万8700人余りと、これまでで最も多くなったことが警察庁のまとめで分かりました。2012年のおよそ2倍に増えていて、警察庁は行方不明者を早期に発見するため、自治体などとの連携を進めることにしています。

紙小路あつまろの独り言

ホームで電車待ちしていたら3人の若い外人女性たちに声をかけられ「大阪へ行くのにどの電車に乗れば良いのか」と尋ねられた。

切符を見せていただいたら私が持っている「近鉄全線フリー券」と同じで、この切符だけでした。

特急の後の急行に乗車すれば、そのまま大阪へ行けますよ。私も乗ります。とカタコト英語での案内も相手に通じたのでホッと、日本国内もインバウンドが回復傾向でこういうシーンは益々日常的になってくるのでしょうか。

彼女たち大きなスーツケースを持って国内を移動しているのです。ネパール、インド、ベトナム、台湾、香港、インドネシアではなさそう。顔立ちからおそらくフィリピン人かな。

研究員だより

編集発行人

東村 篤 (JSPS日本学術振興会)
 四日市大学研究機構環境技術研究所研究員
 (一社) 事業と相続の駆け込み寺プロフェッショナルチームメンバー
 (一社) 国際CCO交流研究所理事主任研究員
 (一社) 全国元気まち研究会研究員
 日本広報学会/四日市大学学会

地場伝統産業でみる価値創造

熊野筆「筆都」熊野筆「筆都」熊野筆「筆都」

広島県安芸郡熊野町(写真・熊野町役場)は、「筆の都」として人口約23千人、うち筆産業に約10%が従事しており広く知られる。広島熊野道路の無料化以降、熊野モールの進出で新築住宅の増加、人口の微増など広島市、呉市のベッドタウンの色彩が強くなってきている。農



地の少なかった熊野では、農閑期になると紀州・熊野大和・吉野に出稼ぎに出て、帰りに筆や墨を仕入れて行商。筆づくりを学んで帰った人々が村人に筆づくりを広めたのが契機となり江戸時代末期、熊野の筆づくりが始まった。熊野町の地域特性から穂となる獣毛や、軸となる竹の生産地ではなく、筆づくりの技術だけが伝承されてきた。

熊野町の筆の生産は全国の大部分を占めており、昭和50(1975)年には毛筆産業としては初めて経済産業省「伝統的工芸品」の指定を受け、「筆の都」と呼ぶにふさわしい筆づくりの

町へと発展してきている。現在、伝統工芸士は18名(うち女性3名)、国内外向けの化粧筆をはじめ全国の書道家の特注品を手掛けるなど全国一の生産量、シェアを誇っている(熊野町産業観光課ヒアリング)。

代表企業 白鳳堂

化粧筆でも名高い(株)白鳳堂(本社・工場 広島県安芸郡熊野町城之堀7丁目10-9・代表取締役社長高本 壮・資本金5千万円・写真 本社工場)は、



10年余り前から毎年小筆を神宮に奉納しており、機会があれば、記帳時に同社の筆を手に

することができ(ヒアリング)。また、同社は、平成19(2007)年、神宮の祭主を務められた池田厚子さまが昭和天皇の和歌を



同社製の筆で記された際、化粧箱と化粧箱を神宮に奉納、感謝状を広島本社ショールーム(写真)

真)に「額」を掲げている(現在、神宮の博物館「神宮徴古館」



に所蔵・写真)。滑らかな肌触りで80ほどの分業化した工程を筆司職人を育成すること

により1日約2万本の高品質で多種多様な筆を自社で安定生産している。筆の生産を家業(高本製作所)としていた創業者高本和男が昭和49(1974)年8月、同社を設立。筆者が、VC在職時代、同社の動向に注視していたもののVCや銀行等金融機関の訪問を受けている中で投資は実現しなかった。たびたび耳にするのは「晴れの日に傘」、平成7(1995)年、同社がカナダの化粧品会社の化粧筆のOEM契約を皮切りに各有名ブランドとの直接OEM契約締結で「化粧筆の熊野」、

「化粧筆の白鳳堂」が脚光、ブレイクとなった。同社の技術やコンテンツを正当に評価できなかった「目利き力」のなさを反省する。平成17(2005)年、第1回ものづくり日本大賞(内閣総理大臣賞)を受賞、翌18(2006)年には、経済産業省中小企業庁「元気なモノ作り中小企業300社」並びに情報処理推進機構「IT経営百選最優秀賞企業」、令和2(2020)年、経済産業省「2020年版 グローバルニッチトッ



プ企業100選」に選定されている。同社を取材して目の当たりにしたのは高品質を維持しつつ量産技術の確立(「筆の穂製造法」特開10-193865はじめ特許15件)、独創的高機能で他社の追随を許さない背景には、オーナーによる検品が挙げられ、広島本社、東京南青山シヨールムなどを通じて絶えないバイヤーとの商談、コンタクトは信頼の証となるコミュニケーションがある。また、広報雑誌『ふでばこ』(2003年創刊・季刊)は、我が国の伝統文化を特集テーマとしており味わい深く誌面構成の内容は特筆。メイクアップアーティスト系ブランドにも注

◇今に始まったことではない政治とカネを巡る問題、投資融資の世界―金融・不動産の領域に居ると利権獲得をめぐる蠢いている感があります。◇株式市場も場立ちの時代は、清和会など様々な団体からの資金が間接的に流入、「政治銘柄」と称され水面下でシナリオ相場が形成されていました。◇特に、「大・福・角」の政争は、熾烈、花柳界も潤っていました。◇歴史的に見れば、識者の見解、評価は分かれますが日露戦争を勝

力、ファッションと骨董のまち青山に融合しており化粧筆では、世界一の品質とブランド力との評価を受けている。地場の筆産業に過ぎなかった同社の世界的な評価、ブランド化で「熊野筆」は、再び、雇用拡大と付加価値の創出によって熊野町の地域経済基盤をゆるぎないものへ牽引の成長発展が期待される。(東村 篤「広報媒体「伊勢だより」から学ぶ地域価値創造に関する一考察」Creating Local Values * ISE DAYORI, as a tool for Public Relations Activities 四日市大学論集第35巻第2号2023年3月)

利に導いた大蔵大臣高橋是清、東京オリンピック後の証券不況で証券保有組合を創設、受け皿を担い苦境を乗り切った大蔵大臣田中角栄、たたくし上げの「閣將軍」首相の座に就き「日本列島改造論」は、今もなお全国新幹線網の国土計画の下地となつていきます。◇既得権益や保身にしがみつく姿勢、行動では良識ある国民の支持は得られない。国民もまた利益誘導での政治家利用では根本的な歯止め、解決にはつながらない。◇長老支配から若き幕末の志士ごたく若い世代からの救国リーダー登場が待たれます。